

FirstGlobal メッセージ

siesta

2016.5月号 vol.156

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

心の鍛え方

今回は、昨年のワールドカップで大躍進を果たしたラグビー日本代表のメンタルコーチを務めた荒木香織さんの『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』（講談社+α新書）をご紹介します。この話題といえば、五郎丸選手のキックの際のルーティーンが注目されていました。もちろんそれについても述べていますが、その他の記述にも共感するところがたくさんありました。たとえば、チームワークは日本人の長所だとよくいわれるが、研究では決してそうではない。どちらかといえば、個人でなんとかする、しなければならぬと考えるのが日本人だ、と。持っている情報をシェアしないし、見て覚えるという意識が強くて、手取り足取り教えることもしない。助け合うということならアメリカ人のほうがよっぽどチームワークに優れている、とのことです。アメリカ人のことはよくわかりませんが、弊社でもクライアント先を見ていて、それは強く感じます。現場のマネージャーがいわゆる「業務マニュアル」の必要性を実感せず、新人を教える際も教える人の経験と勘で教える。よって、違う人に付くと教える人のやり方がそれぞれ違うので、新人も戸惑い、迷い、そして自信が持てず、早期に辞めていく。マニュアルを好まない管理職は「マニュアルで教えると、マニュアルどおりの行動しか取らなくなる」とマニュアルを無視した運営をするようになるケースをよく見かけます。一理ありますが、やはり「基本」は重要です。基本がわかってこそその「応用」ですが、それを理解していない管理職を多く見かけます。いくら口酸っぱく言ってもできないのは、日本人のメンタリティーなのだと、よくわかりました。また「自分の価値観をどこに置くか」ビジネス上のメンタルヘルスについても記述がありました。自分のいる場所が自分に合っていないと思うのであれば、環境を変えることも一手であると。それは配置換えもあれば、自分から会社を辞めることも。しかし、いろいろな要因で辞められないなら、自身の受け止め方、もしくは気持ちの持ちようを変える。テクニックを習得してそれは解決できるとのことでした。同感。

< next >

HPには掲載しましたが、恒例の篠山マラソンは残念ながら徐々に完走できませんでした。36^{km}の関門を、残念ながらあと300メートル残して通過できませんでした。応援をいただいた皆さん、ありがとうございました。捲土重来を期して、また来年。